



東っこ通信 2018

みやき町立三根東小学校
学校だより No.14
平成30年11月27日(火)
校長 築波 真史

学校教育目標 <豊かな心を持ち、自ら学び、進んで行動する児童の育成>
~夢にチャレンジ東っ子~

まもなく師走、学期末を迎えます

つい先日立冬を過ぎたと思っていたら、間もなく師走、2学期も最後のまとめの季節となりました。まだ残暑の厳しい中スタートした2学期でしたが、天候には比較的恵まれ、体育大会や修学旅行、各学年の校外学習なども予定通り実施でき、学習面でも充実した日々を過ごせました。また、地域の皆様にもクラブ活動、お話し会、稲刈りなど、学校での教育活動の様々な場面に関わっていただき、ありがたく思います。

この2学期も残り一ヶ月を切り、最後のまとめの時期にさしかかります。また、今年は12月8日(土)には例年3学期に行っていた「もちつき・感謝の会」を予定しており、子どもたちもその準備等に忙しくしております。幸い、子どもたちの出席状況を見ても、体調をくずしての欠席は少なく、みんな元気に登校できております。

これからどんどん気温が下がり、木枯らしの舞う季節になります。どうぞ子どもさんの衣服の調節や生活のリズムについても気を配っていただき、しっかりと体調管理をお願いいたします。



5年生は稲の収穫をしました

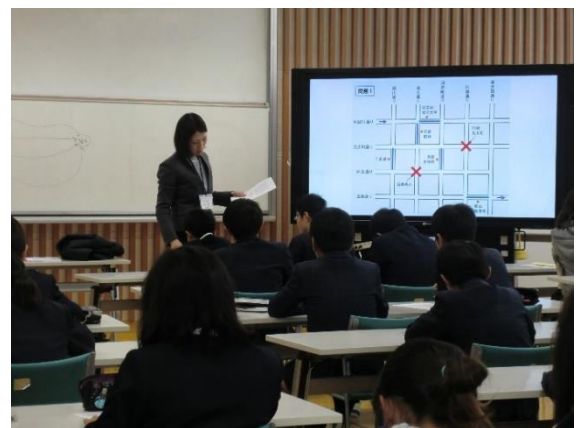
6月28日に5年生が田植えを行った学校田も実りの秋を迎え、11月8日(木)には稲刈りを行いました。今回も田植えの時同様、J A三根東地区青年部の皆さんの指導を受けながら、手際よく稲を刈り取ってコンバインへ入れていきました。私は来客のため学校を出るのが少し遅れたのですが、私が田んぼに到着したときにはもうほとんど刈り取りが終わっていてびっくりしました。

刈り取ったもち米は12月8日(土)のもちつきの際のもち米として、子どもたちや感謝の会へ来られた皆様と一緒にいただく予定です。



6年生は三根中学校の入学説明会へ

11月16日(金)の14:00から、三根中学校で入学説明会が行われ、本校の6年生も全員出席しました。開会行事の後、数学、理科、技術家庭の3グループに分かれて、中学校の先生の授業を体験しました。中学校の先生の専門的な話を真剣に聞いた後、三根西小の6年生と交流しながら活動していました。最後に、生徒会長の大川さんが学校生活について分かりやすく説明してくれました。大川さんの明るくはきはきした発表の仕方にも良い刺激を受けたのではないかと思います。6年生の保護者の皆様にも全員出席していただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



授業参観・親子ふれあい活動へのご参加ありがとうございました

11月17日(土)は「みやき町教育の日」として授業参観と1年生～4年生の親子ふれあい活動を行ったところ、たくさんの保護者の皆さんに来ていただき、子どもたちの学習の様子を見ていただいたり、子どもさんと一緒に活動していただいたりしました。

1・2年生の親子ふれあい活動は「おりがみ」でした。見に行くとあちこちのテーブルで、親子で協力しながら楽しそうに折り紙を折っている姿を見ることができました。中には子どもがお母さんに教えてあげたり、大きな笑い声が聞こえたりと、楽しく活動できている様子を嬉しく思いました。また、最近知ったことですが、1年生には折り紙にすばらしい才能を発揮している子どもさんもいるようで、今後の成長が楽しみです。

3・4年生は「大人としゃべり場」という活動でした。私も最初に学級役員の山川さんから話を伺ったときには、「子どもたちは上手くしゃべることができるだろうか」という心配もありましたが、コーディネーターとしてお見えになった石橋さんのテンポのよい巧みな進行により、最初はぎこちなかった子どもたちもどんどん上手に話すことができ、驚くほど生き生きとした表情に変わっていったのがすばらしいと思いました。後で子どもたちと参加した保護者の皆様へのアンケートの集計結果もいただきましたが、全体の98%の人が「楽しかった」「まあまあ楽しかった」と答えていました。また、80%近くの人が「またやってみたい」と答えており、また違う形ででもできたらいいなと思っています。



三根校区小・中学校交流主張会

11月22日(金)は、毎年恒例の三根校区小・中学校交流主張会が三根中学校体育館で行われました。本校からは5年生・6年生の全員が出席し、5年生は鶴田真緒さん、6年生は坂口 歩夢さんが三根東小の代表として発表してくれました。

鶴田さんは「いつ起きるか わからないときのために」というテーマで、熊本地震の怖かった経験や罹災した友だちの話や募金活動に参加した経験から、家族で災害が起きた時の行動について話し合ったことを紹介し、災害への備えの重要性を訴えてくれました。

坂口さんは、「夢にチャレンジ」というタイトルで事故で親族を亡くした経験、ナイチンゲールの勇気ある行動に感銘を受けたこと、また、修学旅行で訪れた長崎で、フィールドワークの途中で立ち寄った長崎大学医学部で特別な資料室を見せてもらったことなどを通して、災害現場で働く医師になりたいという夢をしっかりとした言葉で紹介してくれました。

三根西小や三根中の子どもたち、保護者の皆さん、来賓など多くの人が見守る中での発表で、かなり緊張もしたと思いますが、堂々と発表する姿は頼もしく見えました。2人のすばらしい経験になったのはもちろんですが、他の子どもたちにもよい刺激になったことと思います。

また、中学生の発表は日本語だけでなく英語での発表もあり、発音・内容とも素晴らしいものでした。本校の子どもたちにとっても、中学生の姿を身近な目標として意識できる機会となったのではないのでしょうか。

